



附属特別支援学校 学校だより第 1号 (令和7年4月25日)

附 青空いっぱい

【令和 7 年度 みんなの合言葉】

♪チャレンジ&ヒーロー

♪ひらく・つながる 附特のチャレンジ

チャレンジ&ヒーロー(合言葉)

令和7年度が始まりました。

今年度の児童生徒数は、小学部18名、中学部17名、高等部19名の54名です。また、教職員は36名です。児童生徒、教職員を合わせて90名でのスタートです。

今年は「チャレンジ&ヒーロー」をみんなの合言葉とし、自分の目標にチャレンジし、一人一人がヒーローになれるように頑張ろうと子供たちに話しました。また、ヒーローは「友達を助けることができるヒーロー」ということも話しました。54名のヒーローたちが、主体的に学び、輝くことができるように、教職員も一丸となって教育活動を推進していきます。御家族の皆様、地域の皆様、大学関係者の皆様。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ひらく・つながる 附特のチャレンジ(学校経営テーマ)

4月22日(火)の育友会総会で、今年度の学校経営方針をお話ししました。

今年度は、学校経営テーマとして、以下を掲げました。

「ひらく・つながる 附特のチャレンジ」

「ひらく」とは

→長崎大学(教員・学生)や地域に開く(オープン)

→児童生徒や教員の豊かな発想とその実現(拓く)

「つながる」とは

→大学や地域のリソースを活用した創造的な教育活動の推進

→「附属らしさ」の発揮

本校では、これまでも卒業後の進路実現に向けた実習先、就労先との連携や、地域資源を活用した校外学習などに取り組んできました。これらの取組で、生徒たちの進路実現や、体験とおした深い学びにつながりました。

また、本校は、長崎大学教育学部の附属学校ですから、教育実習での学生の受入れや大学の先生方と連携した実践研究にも取り組んできました。教育実習では、次世代の特別支援教育を担う若い教師の育成、実践研究では本校教育活動の充実と児童生徒の学び、地域への貢献として成果につながりました。

これまでの取組とその成果を基盤としつつ、今年度からはさらに学校を開き、本校の子供たちや教育活動を大学や地域に知ってもらうことや、児童生徒や先生たちの発想を活かした教育活動を推進していきたいと考えます。また、大学とは、特別支援教育コースの先生、小学校・中学校などの他のコースの先生方、あるいは他学部と連携協働し、「附属学校らしい教育活動」にチャレンジしたいと考えます。

充実した教育活動の実践・子供たちの主体的な学びが子供たちの成長・発達につながり、その取組の様子を広く情報発信していくことで本校のことを知ってもらい、お子様の学びの場として本校を選択していただく・・・・。このような好循環につながるように、附特のチャレンジを進めていきます。御家族の皆様、地域の皆様、大学関係者の皆様、御理解と御協力をお願いいたします。

御入学おめでとうございます

4月10日(木)に令和7年度入学式を行いました。

今年度は、小学部3名、中学部6名、高等部6名の新入学生をお迎えしました。

天候を心配していたところ、小学部の入学許可と同時に体育館の屋根をたたく大きな雨音が鳴り響きましたが、雨はすぐに止みました。穏やかな雰囲気の中、新入学生を迎え、式場にいた誰もがうれしさが心が温くなりました。

新入学生の皆さん、御家族の皆様。御入学おめでとうございます。



運動会練習が始まりました

5月17日(土)の運動会に向けて、4月24日(木)から運動会の全体練習が始まりました。すでに各部での練習は始まっており、これから競技や開会式、閉会式等の練習を重ね、当日を迎えます。これからは暑さや疲れが心配されます。御家庭でも体調管理に御配慮をお願いいたします。

24日(木)中学部は作業学習として「運動会応援席テント」周辺の清掃を行いました。生徒会で「落葉がたくさんあるのが気になる」という意見があったとのことで、ほうきで掃いて落葉を集めたり、落葉を集めて運んだり役割を決めて全員で清掃に取り組みました。

きれいになりました。ありがとう。中学生。



左：落葉を集める様子 右：落葉を運び1年生

